



特集

ブームは文化へと定着するか!?

「スパ&サウナ」 百花繚乱

特別寄稿

「聖夜の晚餐」

作家 沢木耕太郎

新連載

「私の思い出ホテル」

女優 鶴田真由

「加熱水蒸気」を活用した画期的なサウナボイラー

直本工業(株)は、1948年創業のスチーム製品メーカーである。縫製製品向けのアイロンなどで独自技術を持ち、飲食分野では、過熱水蒸気オーブンをはじめとするスチームを使った調理機器が幅広い業種で使われている。

こうしたスチームの高い技術を生かしたサウナボイラーが「ドライスチームサウナボイラー Caldaia (カルダイア)」である。空室前のサウナブームで、「サウナー」「サ道」「ロウリュ」などが流行語となっているが、同社のドライスチームサウナは、一般的な水蒸気サウナとは異なった独自技術に基づいている。これは、「過熱水蒸気」を使うサウナで、40℃前後の室内温度で、十分な発汗効果があり、水蒸気サウナのような肌のべとつきがない。同社美容機器部岸幸三氏は、使用感について次のように説明する。

「従来のサウナに比べ室内温度が低く、暑苦しさがないので、サウナ好きにとっても未体験のサウナと言えるでしょう。発汗は多いのですが、タオルで拭けばさらっとした肌に戻ります。サウナーの方に、試浴していたところ、「このサウナなら水風呂はいらないか

もしれない」というご意見をいただきました。宿泊業界の皆さまにも新発見のサウナだと思えますので、ぜひ当社でその感覚をお確かめください」

実際、扉温泉の有力旅館、明神館に導入が決定している。

過熱水蒸気とは、通常の沸点100℃を大きく超える温度まで過熱した水蒸気で、目に見える湯気の水蒸気に比べ、直径が約10万分の1の「見えないスチーム」となる。この見えないスチームが40℃前後という低温でも、人の体に大きな潜熱を与え、心地よい発汗につながる。10分×3回のモニタリングでは「基礎体温が1℃程度上がった」「冷感性だが、1日中足がホカホカしていた」「肌のサラサラ感が続く」「髪が傷まない」ので、サウナキャップの必要がない」といった意見が出ている。

「ドライスチームサウナの知名度はまだ低いとは思いますが、

美容や健康効果をアピールすれば、女性や年配客の集客にも繋がると思います。サウナブームといわれていても、あの暑さは苦手というお客さまにも、ドライスチームのカルダイアならサウナをゆっくり楽しんでいただけます(岸氏)

設備負担も軽く 施設価値の向上に寄与

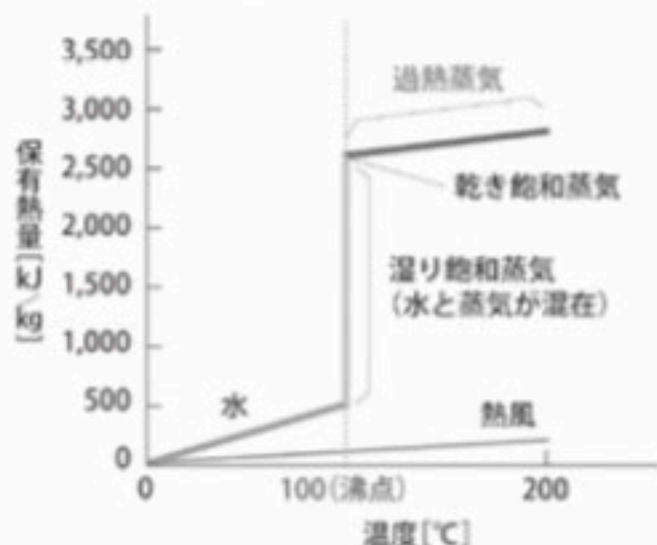
さらに健康効果についても、同社は医学的な検証を進め、抗がん効果なども探っていききたいとする。

カルダイアは、水道・電源・スチーム配管・換気設備があれば設置ができるため、設備導入負担が軽い。コテージやグラブリング、宴会場や会議室の改装などでも利用が可能。可燃物を使用しないので、火災の危険もない。しかしながら、水浴もしたい宿泊客には大浴場や客室バスルームで充分だろう。スパ・エステプランにこのドラ

イスチームサウナを加えれば付加価値が高まるはずだ。現行製品は出力12kwで8名程度のサウナ室に対応。2人向けの個室タイプも開発中だ。貸し切り露天風呂と同様に、個人客向けの人気施設になりそうだ。カルダイアの操作は簡単で、ほぼ電源起動と温度設定のみ、清掃も通常のサウナと同様である。温度設定は立地によるが、夏場なら36℃、冬場なら43℃前後で快適なサウナライフを提供できる。世界で見ても類似製品がほとんどないため、ホテル・旅館の経営者には、直本工業の試浴ルームでの体験をぜひお勧めしたい。低温で、ヒートショックなどのダメージがなく、心地よい睡眠につながるのがドライサウナだ。



電気式 簡易貫流サウナ用ボイラー「NBSA series」



100℃の沸点を超える加熱蒸気により、低温な室内温度でも十分な発汗効果を発揮する。